

電気設備科 学校関係者評価委員会 議事録

【出席者】

学校関係者評価委員 (敬称略 順不同)

乾 克彦	大阪電業協会
高松 光示	中央電設株式会社
渡邊 隆行	株式会社セイコー

本学教職員

木村 誠	学校長
松本 哲也	司会 総務ユニット班長
中本 智	就職ユニット主任 電子工学科 2年担任
上田 良和	教務ユニット班長 電気設備科 2年担任
浅野 勇介	電気設備科 1年生担任
西原 太一	書記

【日時】 2021年3月10日 15時00分～16時00分

【場所】 大阪電子専門学校 3階 コワーキングスペース

【議案】 1. 教育方針案 報告及び議論
2. 学生アンケート結果の報告及び質疑応答
3. 自己評価結果の報告及び質疑応答

【議事録】

1. 教育方針案 報告及び質疑応答

教育方針に関し報告を行い、問題がなしとなった。

2. 学生アンケート結果の報告及び質疑応答

学生アンケート結果に関し報告した。今回のアンケート結果を持ち帰っていただき、次回の委員会においてアンケート項目の検討を議案としたい。企業から学生に聞いてみたい項目に関しても、ぜひ盛り込みたいと考えている。

3. 自己評価結果の報告及び質疑応答

退学に関しては、当校では1クラス20人として1名程度であり、退学者なしであることもある。他校の公開情報では、1名またはそれ以上で有ることが多い。退学の理由としては、主に学校とのミスマッチであったことが多い。その他としては経済的事情がある。特殊な例としては、1年修了時に第一種電気工事士の資格を取得したため、退学した例もある。実家を継ぐために、修行として就職し、退職した学生は一定数いる。

学校というのはコミュニティで学ぶ場所であり、人間形成的な要素がある。会社で長続きする人とは、仕事がきつくてやめるということはあまりなく、仕事場の雰囲気やめることが多い。

コミュニケーション能力は電気設備科が高い。学校では遅刻が多かった学生も、社会人になるときちんとやっけて行けていると聞いている。

高校や高等専門学校との連携が、やや不適切であるとしたのは、本校の学校規模などの事情により、手が回らない状態にあるためである。これに対して、高校と交流会を年に1回行っている。そこに参加して行きたいと考えている。

以上